

授業科目	中国の社会と文化					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10401J		
開講年次	2・3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3				
担当教員	神崎 明坤								
授業概要	グローバル化の時代に直面している現代世界は人や物、情報などの移動と交流が飛躍的に増加しつつあり、異文化との接触が避けられなくなっています。それは異なる文化伝統を持つ諸社会が互いに理解を深め、共生していく契機ともなりうるものです。このような認識のもとに国際的視野に立って隣国・中国のことを幅広く学び考えながら、異なる社会文化に触れていきます。お互いを豊かにし合うような関係を模索し、育てていきます。それを中国の社会と文化の授業の主旨として進めていきたいと思います。								
学生が達成すべき行動目標	1. 中国人とその社会、性格、民族意識、価値観、多民族社会の多様な文化の関連性を理解できる。 2. 社会変動下の家族制、結婚と家族のあり方を理解できる。 3. 女性の社会的地位、女性解放、男女平等の本格化の実態を理解できる。 4. 中国の政治、経済、教育などのあり方を把握できる。 5. 中華思想、信仰、宗教を理解できる。 6. 現代の若者及び大学生の実態を理解できる。 7. 社会の変動の実態を通じて中国文化の特徴を理解できる。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	50	0	20	0	20	10	100		
知識・理解 (DP1-1)	30		10		10	5	55		
知識・理解 (DP1-2)	10		5		5		20		
知識・理解 (DP1-3)	10		5		5	5	25		
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
中国の社会と文化の学習を通して、国際的視野に立って、物事を多元的に考える資質の向上を図ることができる。				異文化を理解し、グローバルな意識を修得できている。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	中国に関する基礎知識(国土、気候、行政区分、言語、生活習慣等)	講義	該当部分の復習	90
2	中国人及びその社会の実態	講義	該当部分の予習、復習	90
3	中国人の性格と物の考え方、行動様式、民族特性	講義	該当部分の予習、復習	90
4	漢民族社会及び少数民族との関係	講義	該当部分の復習	90
5	社会変動下の家族制度、結婚と家庭	講義	該当部分の復習	90
6	中華思想(儒教、道教、仏教)	講義	該当部分の復習	90
7	現代中国の政治	講義	該当部分の復習	90
8	現代中国の経済	講義	該当部分の復習	90
9	改革開放後の中国経済	講義	該当部分の復習	90
10	中国の教育	講義	該当部分の復習	90
11	女性の社会地位の変化	講義	該当部分の復習	90
12	現代若者及び大学生の価値観、人生観等	講義	該当部分の復習	90
13	中国の都市及び農村の実態	講義	該当部分の復習	90
14	中国の映画鑑賞(初恋の来た道)	講義	該当部分の復習	90
15	中国の社会と文化授業の総復習	講義	該当部分の復習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	インターネットを利用して中国に関する知識、事情をきちんと習得できること。			
テキスト	特に指定しない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	中国の社会構造 大修館書店 中国の社会 平凡社 適宜プリントを配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1. 講義やプリントからサブノートを作る。 2. 分からないことを図書館やインターネットで調べる。			
達成度評価に関するコメント	異文化に関心を持ち、視野を広げ、楽しく日本と深い関わりの中国のことを学びましょう。			